昭和55年9月5日
広報あじす　毎月5日
お知らせ版　毎月20日　発行
山口県吉敷郡阿知須町
発行　阿知須町役場
電話　4111番㈹・〒754—12
印刷　よしの印刷株式会社

広報あじす

No.345

町の住民登録人口
（55年8月31日現在）　前月比
世帯　2,210世帯　－1
人口　8,346人　－13
（男3,915人　女4,431人）
（国勢調査　昭和50年10月1日）
世帯　2,113世帯
人口　8,137人
男3,771人　女4,366人

ご記入をおねがいしまァす

十月一日に「国勢調査」

五年に一度　大がかりな統計

ことしの十月一日は五年に一度全国で一せいに行われる「国勢調査」の日です。

この国勢調査は、国内に住んでいるすべての人を対象とした国の最も基本的で大規模な統計調査です。大正九年「文明国への仲間入り」を合言葉に初めて実施されて以来、ことしで十三回目です。

今回の標語は「パパにママ　ボクも書いたね国勢調査」となっており、全国で約七十五万人の調査員が四千五百万枚の調査票を全世帯に配布し、ご記入願う—という国をあげての統計調査です。この結果は国の政治や行政の資料となるばかりでなく、都道府県や市町村別にまとめられ、行政をはじめ広い分野にわたって活用されます。

本町は四十六の調査区に分け、それぞれの調査員が今月下旬に各家庭、下宿、間借り先などをまわり、調査票の記入をお願いすることになっています。また、十月一日から五日までの間に調査員がお伺いして記入済の調査票をとりまとめます。

調査票に記入していただくのはそれぞれのお宅にふだん住んでいる人全員です。旅行などで一時不在の人、長期間滞在している人、生まれたばかりで名前のついていない赤ちゃんなども必ず記入ねがいます。

調査項目は二十二

今回の調査事項は二十二項目です。内容をこの統計以外に使ったり他人に知らせたりすることは法律で禁じられています。したがって秘密は守られますので、正しく記入していただきますようご協力をお願いします。

調査項目は、男女の別、出生の年月、世帯構成、就業状態などのほか、現住居への入居時期、通勤通学先と利用する交通手段、住居の種類、居住室数などです。

調査票は汚さずに

ご記入いただいた調査票は総理府統計局に集められ、そのまま光学式マーク読取装置という機械にかけて集計されます。

この機械は、文字がワクからはみ出していたり、調査票が折れたり、曲ったり、汚れたり、また、調査票の裏にご飯つぶやススがついていたりすると、正確に読み取ることができない場合がありますので、十分ご注意ください。

筆記用具は必ず「黒鉛筆」をお使いください。コンピューターは黒鉛筆の文字だけを読みとることになっています。

お忙しいとは思いますが、ご協力をお願いいたします。

パパにママ　ボクも書いたね国勢調査

本町は何人？

人口の予想投票募集

国勢調査による「阿知須町の人口は何人でしょうか？」。町ではあなたの予想投票をつぎの要領で募集します。

応募資格は町内在住者なら誰でもよろしい。ハガキに予想人口を一つ書いて、住所、氏名、年齢を明記のうえ、阿知須町役場企画室へお送りください。一人一点限りです。適中者には賞を、適中者がない場合は正解に近い人三人に記念品を差上げます。締切りは九月三十日。当日消印のあるものは有効です。発表は本紙の十一月号。

【参考】
五十年国調人口＝八、一三七人
五十五年八月三十一日人口
＝八、三四六人

なお、県でも山口県の人口予想投票を募集しています。県の場合ハガキは何枚でもよろしい。記入方法、締切り日は町と同じ。送り先は、山口市滝町・山口県企画部統計課内・国勢調査山口実施本部

【参考】
五十年国調人口
＝一、五五九、二一八人

二千年前

弥生中期に農民が住む

貝殻山　学術上の価値ある遺跡

なぜ引野の山頂に弥生人は住んだのか、彼らはどこから来てどのような生活をしていたのか——を探るために文化庁と山口県の補助を受けて、阿知須町教育委員会が四年前からすすめていた発掘調査は、多くの成果をあげて近く終る見通しがつきました。

引野の山頂〝貝殻山〟—かいがらやま—に貝塚があることは明治の頃から知られていましたが、これの学術的な価値については近年までよく知られていませんでした。

そこで町教育委員会では、昭和五十一年から専門家に委嘱して調査を行い、今から二千年ばかり前の、弥生中期といわれる時代の貝塚で、全国的にみて学術上きわめて重要な価値があることが明らかになりました。

弥生中期は太陽活動の関係で世界中が温暖になり、両極の氷が融けて海面が少し上昇したことが知られています。本町でも海岸線が少し内陸に入っていたわけです。しかし、それもわずかで、井関川の上流あたりでは水田も十分できる程度のものです。

弥生中期の日本をみると、稲作によって人々の生活は安定してきますが、貧富の差が生じ、富める者が貧者を支配するクニができはじめ、ある時にはそれらが勢力拡張の争いをした時期です。

今回の発掘調査では、引野山頂の弥生人は、この争いが原因で山にたてこもった人々か、を探ることも一つのテーマでしたが、武器がほとんど発見されないことと、多くの貯蔵庫が発見され、普通の農民的生活が想像されることからこの考えは否定されました。

（写真は発掘調査現場）

しかし、井関川沿いの低地には水田を作り、住むのに都合のよい土地があるにもかかわらず山頂に住んだ理由は謎です。

今回の調査で分ったことの一つ弥生人はこの山頂を去るにあたって、自分たちが掘った穴は埋めもどしています。「たつ鳥あとを濁さず」は弥生時代からのモラルでした。

今回の調査結果は、来春各分野から分析、検討され、全国に発表される予定です。

お知らせ

お年寄りの生活相談所

社会福祉協議会

社会福祉法人阿知須町社会福祉協議会は高齢者生活相談所をはじめました。

相談の内容は
①生活および健康相談と指導
②社会活動の相談およびあっせん
③老人適職の調査・研究

専任の職員も八月から二人にふえました。相談の希望者は社協事務局（役場内）へどうぞ。

九月十四日に町内球技大会

町体育協会主催の第二十九回町内球技大会は九月十四日午前八時から阿知須小・中学校で開かれます。種目はバレーボール、ソフトボール、卓球、インディアカの四つで、バレーは一般の部と婦人の部の二つ。

競技は地区対抗のトーナメント方式。参加は一人一種目。中・高校生や他地区からの参加はできません。卓球は団体戦のあと個人戦やベテラン選手の指導もあります。

参加申込みは九月十日までに教育委員会へ。

なお、雨のために延期されている町内野球大会は九月二十八日、阿知須中学校で開かれます。もし前記の球技大会が雨で流れた場合はこの日が球技大会になります。

あなたの名前が載っていますか

選挙人名簿の登録

永久選挙人名簿の定時登録は毎年九月一日現在で調整されます。町選挙管理委員会でも九月一日現在で①日本国民②満二十歳以上③本町の住民基本台帳に名前が記載され、引続いて三ヵ月以上住んでいる人を選挙人名簿に載せました。

これまでの選挙のとき入場券が届いた人で、その後も住所異動のない人は、引続いて載っています。

また、新しく二十歳になられた人、転入後三ヵ月経過した人などもこの名簿に加えていますが、実際に載っているかどうか確認されたい方は町選管事務局でご覧ください。期間は九月十一日から十五日までの五日間です。（これを縦覧期間という）

なお、選挙人名簿の登録は、この「定時登録」のほかに選挙のとき期日（基準日）を定めて事務処理をする「選挙時登録」というのがあります。万一、名前がもれていた人はこのとき載せることもあります。

体育館など使用のときは申請を

いま利用者がいっぱい

町内の学校体育館や講堂を使うときは十日前に使用申請書を出しましょう。町教育委員会ではきちんと守ってほしいと呼びかけています。

いま、阿知須中学校や阿知須小学校の講堂は、スポーツ愛好者によって毎夜のように使われています。このため、地区、グループあるいは職域でいきなり使おうと思ってもなかなか調整がつかない状態です。

そこで、あらかじめ申請書を出しておけば利用者同士の話合いで調整がつくだろうというわけです。

申請書の提出先は使用希望の学校長あて。

使用するときは、たばこの吸いがらを捨てないように。あと片づけもよくしましょう。

9月のメモ

9日	婦人学級（前9時・社会見学）　育児相談（後1時半）
10日	すみ絵教室（後1時半）　ペン習字教室（後2時）　青年教室（後7時半）　同和教育講座Aコース（後1時半）
12日	同和教育講座Bコース（後7時半）
13日	敬老会（後0時半・阿中）　幼児学級（前9時半）　少年教育講座（後2時半）
15日	敬老の日　北方八幡宮大祭
16日	料理教室（前9時半）　三種混合（後2時半）　1歳6か月健康診査（後1時半）　交通事故相談（前10時）
17日	ペン習字教室（後2時）　同和教育講座Aコース（後1時半）
18日	心配ごと相談（前10時）　風しん（後1時半・阿中）　手芸教室（後1時）　あじのす大学（後2時半）
19日	同和教育講座Bコース（後7時半）　幼児を持つ母親の読書講座（後1時半）
22日	洋裁教室（前10時）

（会場の記入のないのは役場）

今月の納税

○国民健康保険税

善意はここに

〔社会福祉協議会へ〕

◇香典返し▽五万円＝工藤敦さん（寺河内）は父一之進さんの▽三万円＝辻岡弘道さん（岩辻）は伯母クニさんの、寺田良和さん（砂三）は父卯一さんの、上野仁さん（岩前）は母ソノさんの。

◇篤志▽二千円＝匿名＝遺失物を届けてもらった善意に対して。

〔町へ〕

◇広報紙送料▽五千円＝岩田秀夫さん（東京都新宿区大久保三丁目寺河内出身）中野泰司さん（神奈川県横浜市鶴見区生麦三丁目・恵比須出身）▽二千円＝下道操さん（宇部市東岐波区磯地・築地出身）

無料で健康診査

四十歳以上どなたでも

町ではことしも四十歳から六十四歳までの人を対象にした循環器疾患の健康診断と、六十五歳以上の人を対象とした老人健康診査を行います。

実施期間は九月二十五日（木）から十月二十四日（金）の一か月間。いずれも無料です。

循環器疾患の受診対象者には受診券を、六十五歳以上の人にはハガキをお届けしますので、それをもって行けば、町内の新井医院、佐藤医院、共立病院、同仁病院のいずれか希望のところで受診できます。

〝言いたい　聞きたい〟
町民相談係は
有線二一二六番
局線四一一一番（内線44番）

ぼくの学校　わたしの学校

〔阿知須小〕

9日	参観日、夏休み作品展
16日	貯金日
24・25日	秋吉台宿泊訓練（五年）
30日	運動会予行
10月5日	秋季運動会
6日	振替休

〔井関小〕

9日	身体測定、参観日
10日	プール納め
12日	集金日
24・25日	秋吉台宿泊訓練（五年）
26日	貯金日
30日	運動会予行
10月5日	秋季運動会
6日	振替休
7日	集金日

〔阿知須中〕

9日	参観日、夏休み作品展
17日	体育大会予行
21日	体育大会
22日	振替休
25日	貯金日、簡易保険納入日
10月4日	長距離記録会
6日	諸会費、給食費納入日

あじす運動　（あ）「あいさつ」をしよう　（じ）「じかん」を守ろう　（す）「スポーツ」にはげもう

学ぶことは生きがい
人の集りにもすすんで
老人

いま、六十五歳以上の人は全国で約一千万人。それが四十年後の昭和九十五年には二千六百万人と推計されています。

警察庁の発表によると、昨年一年間の自殺者は約二万人、うち六十五歳以上が四分の一を占めています。これは、全国のどこかで、毎日十四人近くの人が自殺している計算です。

また、総理府の行った「老人の社会参加に関する調査」によりますと、生きがいのトップは「息子や孫の成長」で三二%、二位が「職業・仕事」の二三%、「趣味・娯楽」が一五%と続いており、「社会活動」をあげた人は、わずかに四%に過ぎません。

そして問題なのは「生きがいを持たない」と答えた老人が二九%もあるという事実です。「息子や孫の成長だけ」と「生きがいなし」を加えますと、実に六一%にもなり、ここに受け身で孤独な〝現代の老人像〟が浮かび上ってくるのです。

しかし、最近では「してもらう年寄り」から「社会に役立つ年寄り」や「自分から学ぶ年寄り」を自覚する人がふえつつあるようです。

社会人が勉強することは道楽である…という見方から、人は死ぬまで勉強しなければいけないという考え方にも変りつつあります。

町が催す各種行事にも参加者が年々ふえています。

スポーツ面ではゲートボール、老人スポーツ大会、町民運動会など盛んです。

学習講座は、あじのす大学、盆栽教室、園芸教室、陶芸教室などあります。だから、学ぼうと思えば、いつでも、しかも無料で参加できます。あなたも参加されてはいかがでしょう。

する仕事がない、人々から敬遠される、過去にしがみつく人、それらはさびしい人といえましょう。

「よしやるぞ!」という気持ちで、人々の集りの中に入っていきましょう。

また①自分は功労者である②他人の親切は当りまえ③感謝の気持ちがない、などの人は進歩の止った人だといわれています。自分をいま一度、見直してみることも大切なことといえましょう。

盆栽教室でまなぶお年寄り

夏の疲れが事故招く
9月21日から　秋の全国交通安全運動

九月二十一日から三十日までは秋の全国交通安全運動月間です。

ことしは交通事故による死者が増加ぎみです。

また、夏の疲れの出る秋口はドライバーにとっても要注意で例年、過労による交通死亡事故は、スピードの出し過ぎ、わき見運転、酒酔い運転に次いで第四位をしめています。

秋はまた行楽のシーズン。家族そろってドライブをする機会も多く、とくに大黒柱のご主人は夏の疲れをおして、行楽のコンダクター兼ドライバーとして大活躍しなければなりません。

過労運転は重大な事故をひき起こしますが、とくに夏の終りから秋にかけては、疲れが出て体調をくずしやすい時期です。自動車を運転する人は、つぎの点に十分注意しましょう。

〈ふだんの注意〉

▽病気や体調がくずれていると思ったら、運転しない

▽ドライブ旅行の前夜は、夜ふかしをせず、体調をととのえる

〈運転中の注意〉

▽無理なスピードは、事故のもとスピードの出し過ぎに注意する

▽長距離を運転するときは、疲れなどの自覚症状がなくても、二時間に一回くらいの割合で、自動車を安全な場所にとめ、休憩する

▽運転中、疲れや眠気をもよおしたら、直ちに安全な場所に自動車を止め、仮眠したり、車外に出て軽い体操などをする。

▽シートベルトは必ず着用する

七百六十八人を招く　七十歳以上
敬老会　五年間に三二%ふえる

九月十五日は「敬老の日」。また、この日から一週間は「老人福祉週間」です。

お年寄りは、長い年月にわたって社会に貢献された方々です。長寿を心からお祝いするとともに、今後も今日までつちかってきた知識と経験を社会に役立てていただきたいものです。

町ではこうしたお年寄りに感謝と慰労の意味でことしも町主催の敬老会を催します。

ことしは、いつもと違って九月十三日(土)のひる十二時半から阿知須中学校体育館で開きます

敬老会招待対象者は七百六十八人で、五十一年の五百八十人と比べると、この五年間に百八十八人(約三二%)ふえています。

敬老会は式のあと町内の有志による余興が予定されています。

九十歳以上が十一人
米寿六人には　記念品贈る

町内で九十歳以上の人は十一人(男二、女九人)です。最高齢者は河内の野川スエさんで、現在、九十六歳。去年から自宅で寝たきりの生活とのことです。

ことし中に、米寿(八十八歳)を迎えられる人は六人です。町から記念品を差上げます。

寝たきり老人は五月一日現在で十五人。ひとり暮し老人は五十人

九十歳以上の高齢者

野川　スエ	明治17年生	河内
藤永　利介	明治20年生	白松苑
浜西　サツ		〃
山城　ワサ		〃
河崎　トシ	21	浜表
林　クニ		築地
武永　ツキ	22	中村
上野ナツノ		織南
藤本　イワ	23	南祝
浜西　新治		北祝
徳田　クニ		白松苑

今年度米寿を迎えられる人

松浦　萬治	明治25年生	砂三
須崎　マシ		中村
中村　光		旦西
長尾　ナヲ		野口
兼定シケコ		西条
柳井マツヨ		引野

うらめしや…長雨
施肥や防除に万全を

〝涼しい夏〟が過ぎ、早い秋が来ました。稲の刈入れまであと一か月ばかりとなりましたが、ことしは、例年にない減収が予想されます。本町の農業関係機関の指導者たちは少しでも減収を防ごうと農家の人たちの指導に懸命です。

被害の原因は長雨による日照不足と低温。普通、梅雨期は六月上旬ごろから一か月間ですが、ことしは梅雨が八月の終りまで続いた格好です。

このため①稲は茎が弱く、穂が出ると倒れるおそれがある②イモチ病が発生しやすい(特にことしは、この地方には珍しい〝穂首イモチ〟が発生)ので、肥料の与え方、害虫防除に注意が必要です。

八月下旬には農業改良普及所、家畜保健所、農協、町の職員らが集って対策を協議し、町内の農家に「農協の指導課、農業改良普及所などの指導事項をよく守ってほしい」と呼びかけました。

長雨による被害は稲だけでなくブドウ、野菜類にも大きく及んでいます。米の転作として奨励された大豆も、秋の収獲をめざしてまいたものは弱々しく育っているので「天候が回復すれば中耕・土寄せをするように」とのことです。

本町の水田面積は四九二ヘクタール、そのうち、今年度の転作は九七・四ヘクタール(大豆五三・八)です。

また、長雨のため草を刈っても乾燥できないことから、和牛飼育(本町は約一七〇頭)にも影響し干し草を北海道から仕入れている農家もあります。このことについて、その農家は「飼料代が高くつくが牛を殺すわけにはいかない」と、空をうらめしそうに眺めていました。

多屋橋をかけ替え
一般車両は通行止め

土路石川にかかる多屋橋(参宮通り線=中学校〜八幡宮)は、かけ替え工事のため八月から一般車両の通行を禁止しています。

歩行者や農耕用車両は仮り橋があるので、通行できます。

工事完成は来年三月二十日の予定です。

大きく育て!車エビの赤ちゃん
三百万尾を干拓沖へ

町と漁業協組は八月下旬に車エビの稚魚二百万尾を干拓沖に放流しました。

体長は一・四㌢平均で、六か月すれば市場に出せる程度に成長するとのことで、漁業関係者の期待は大きいものがあります。

七月にも百万尾放しており、合計三百万尾放したことになりますが、成長するのは、そのうち一〇%ぐらいではないかとみられています。

エビ一匹の代金は二十五銭。計七十万円は町費負担です。

ソフトボールの記録二つ

子ども会ソフトボール

八月十一、十二日、阿知須中学校で。優勝は前山、二位は飛沖、三位玉川チーム。

おとなのソフトボール

十四チームが参加、これは中小学校会場で開かれました。優勝は浜表親睦会、準優勝は岩倉スナイパーズ、三位は鴨生原壮年会と東条ヨワンズ。

九月はガン征圧月間
早期発見・早期治療を

九月はガン征圧月間です。

ガンでなくなる人は年々ふえ、依然として〝人類共通の敵〟という形容がピッタリです。

全国的にみると、死亡順位二位という状態がここ十数年来続いています。

男性は三十五歳から六十九歳、女性は三十歳から六十九歳までが比較的多く、働き盛りの人がガンのため多く死亡しています。

また、本町では昭和五十三年中に六十二人が死亡し、そのうちガンによるものが十六人、死亡順位一位で全体の約四分の一を占めています。

ガンは無症状のうちに芽ばえますが、〝自分の健康は自分で守る〟ということでガンをただ恐れるだけでなく、正しく知り〝早期発見早期治療〟を心がけ、そのためには年一回検診を必ず受けるようにしましょう。

特に、つぎのような兆候があれば、早く医者に診てもらいましょう。

▽胃…胃の具合が悪く、食欲がなく、好みが変った

▽子宮…おりものや不正出血がある

▽乳…乳房の中にシコリがある

▽食道…のみこむときに、つかえる

▽大腸・直腸…便に、血や粘液がまじる

▽肺・喉頭…セキが続いたり、タンに血がまじったり、声がかすれる

▽舌・皮膚…治りにくいカイヨウがある

▽ジン臓・ボウコウ・前立せん…尿が出が悪かったり血がまじったりする

ガン対策は早期発見からです。

また、山口大学附属病院では九月中、胃ガンの検診をします。

公民館図書

▽おふろでちゃぷちゃぷ・モモちゃんとアカネちゃん・龍の子太郎・いないいないばあ(松谷みよ子著)▽11ぴきのねことぶた(馬場のぼる)▽せんろはつづくよ(与田準一)

慶弔録

出生(おすこやかに)

吹上義男	長男	義智	7・25	築地
今津太一	二男	良太	7・30	飛石
兼重哲郎	長男	順一	8・1	赤迫
田辺勝明	長男	学	8・6	野口
斉藤　守	二男	稔	8・9	南祝
坂井達穂	二女	玲香	8・11	旦北
中野　朗	一女	絢子	8・19	岩前
田辺雅博	二女	直子	8・21	岩上
原田克美	二男	勝利	8・19	岩西前

婚姻(おしあわせに)

松岡謙治	宇部市
益枝(杉永)	旦北
中本陽一郎	寺河内
紀代美(小林)	山口市

死亡(ご冥福を祈ります)

寺田　卯一	8・1	85	砂三
工藤一之進	8・3	78	寺河内
上野　ソノ	8・6	83	岩前
背戸山ミイ	8・15	87	旦北
小林ヒサコ	8・13	87	白松苑
松尾ウメコ	8・23	78	小西

みんなの広場

あなたの文芸作品やご意見、お気づきのことなど未発表のものをお寄せください

短歌

浜　正司ウメノ
盆踊りのけいこにはげむ孫達に付添いゆきて吾も輪の中

南祝　長谷川さつき
葬送の白菊匂ふ門を辞し雨にぬれつつ野の道帰る

小西　藤重アヤ子
明日からは海苔網作りにかからむと日暑き庭の残り草取る

北祝　原田　双恵
手すさびの人形数多大切に媼の顔に安らぎの見ゆ

旦北　木原百合雄
雷雨の中菊作る友訪ね来ぬ稲妻のもと花談義する

小東　松尾　君代
床を鳴らし歩きいし夫を想いをり老いたる今の足音やさし

小西　平海アサノ
長雨に莢つきしままに芽の出しうずら豆見つ裏畑に佇つ

砂三　桜井　文子
慣れていしサンダル履きて捻挫せりはり薬きしか今朝は歩まる

飛石　砂村ヤス子
やはらかき母の足もむ己が手に小さき足の裏は冷たし

岩西　中本　幸枝
減反に大豆植えむと育てし苗雨の晴間に独り引きおり

砂三　渡辺　宮子
白萩もまじりて頭上に咲きたるる永明寺雨の山道のぼる

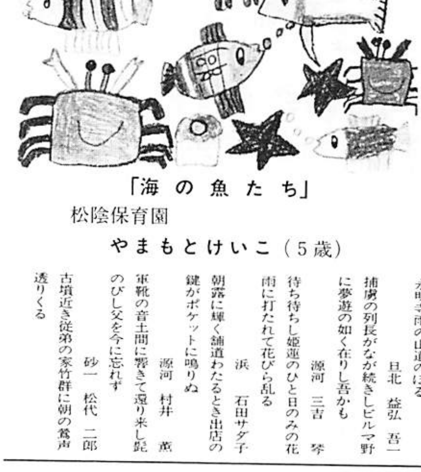
旦北　益弘　吾一
捕虜の列長がなが続きしビルマ野に夢遊の如く在りし吾かも

源河　三吉　琴
待ち待ちし姫蓮のひと日のみの花雨に打たれて花びら乱る

浜　石田サダ子
朝露に輝く舗道わたるとき出店の鍵がポケットに鳴りぬ

源河　村井　薫
軍靴の音土間に響きて還り来し髭のびし父を今に忘れず

砂一　松代　二郎
古墳近き従弟の家竹群に朝の鶯声透りくる



「海の魚たち」
松陰保育園
やまもとけいこ(5歳)